

第84回

VINA WORLD LINK CO.,LTD



- 事業内容: 特殊精密バルブ機器類の販売
- 住所: R.A22,3rd, Pullman Hotel No.40 Cat Linh Str.,Cat linh Ward,Dong Da Dist., Ha Noi City, Vietnam
- TEL: +84-4-37368587
- URL: <http://www.fujikin.co.jp>

Vina World Linkは、株式会社フジキンの100%出資現地法人として、2011年にハノイ市に設立されました。主な事業内容は、親会社であるフジキンの石油化学プラント用特殊精密バルブ機器、医薬・食品用無菌プロセスバルブ機器等の超精密ながれ(流体)制御システムの輸入販売となっており、ベトナムの最大の国営エネルギー企業グループなどへ製品を提供しています。今回は、Vina World Linkの立上げ前から現地の事業調査を行い、Vina World Link 設立後は、事業運営に尽力されている栗山社長にお話を伺いました。

○ベトナム進出の経緯を教えてください。
Vina World Linkの親会社である株式会社フジキンは、特殊精密バルブ機器に代表される超精密ながれ(流体)制御システムの製造メーカーですが、2000年初頭から製品の価格競争力を高めるために海外進出を検討することとなりました。検討段階では、チャイナ、タイなども進出先候補として検討しましたが、チャイナは政治的なリスクがあり、タイは労働力の問題があるということで、最終的に安価な労働力が豊富で勤勉な若者が多く、日本人が安心して生活できる環境であるということから、ベトナムのハノイ市への進出を決定しました。
その後2002年に、フジキングループ初の海外拠点として、ハノイ市のタンロン工業団地に半導体製造に使用されるバルブと継手を製造するFujikin Vietnamを設立しました。2002年当時は、まだ日系企業の進出もそれほど多くなく、タンロン工業団地でも比較的早い段階での進出でした。Fujikin Vietnamは、ベトナムで製造した製品を海外へ輸出するEPEライセンスの輸出型企業で、進出当初は、レンタル工場でしたが、2006年には自社工場を設立し、現在では、社員数500名にまで成長することが出来ました。Fujikin Vietnamでは、主に半導体製造装置用超精密バルブ機器を製造しており、半導体製造の盛んな台湾、チャイナ、シンガポールのお客様にお届けしています。

その後、ベトナムへ日本を含む多くの外資系企業がベトナムへ進出するようになり、インフラ整備・電力確保のためにベトナム国内で複数の発電所建設プロジェクトが進むようになりました。日本国内で発電所やプラントに関連するバルブ・継手を、数多くのお客様からご採用いただいていたフジキンは、ベトナムを生産だけの地ではなく、販売に関しても有望な市場として考えるようになり、ベトナム国内販売を行う為に、フジキンの2つ目の現地法人として、貿易商社Vina World Linkを2011年04月に設立しました。その後、ベトナム国内販売向けの製造を強化する為に、2013年にはベトナムで3ヶ所目となるベトナム現地法人としてFUJIKIN BAC NINH INCORPORATEDをVSIP BAC NINHに設立しました。

○事業内容を教えてください

貿易商社のVina World Linkは日本のバルブメーカー系商社として、ベトナム国内の石油関連プラント、発電所、工業ガス、製薬、食品の各業界に、自社のバルブ・継手に加え、その他周辺の配管材料・機器の輸入販売を行っています。ベトナム最大のエネルギー企業グループの石油プラント設備、ベトナム国内に建設された火力発電所、LNG設備、各種工業ガスの製造・供給設備及び、日系企業の進出が活況な製薬・製剤工場や食品工場へ、高品質な日本の製品を納

入しております。日本のODAで建設が行われたノイバイ空港新国際ターミナルのジェット燃料供給設備にも、フジキンの高圧バルブ・継手をご採用いただきました。

2015年後半からは、ベトナム国内向けの生産工場のFUJIKIN BAC NINHの生産技術を活用して、バルブ・継手の単品の販売だけではなく、工業ガス用のガスパネルやユニットのシステム販売を開始しました。お客様の工場での生産活動に必要な各種工業ガスの供給設備をベトナム国内で設計・製作・検査・納入のオールインワンで対応しています。

○ベトナム人スタッフの評価は如何でしょうか？

「企業は人なり」と良く言われますが、フジキンでは「人材」を「人財」と昔から表現しています。近年はさらに「人財®」と社内でも表しています。これはベトナムにおいても、同じ考えで経営を行っております。Vina World Linkでは社員に「チームワークが大切」と日頃から話しています。少ない人数で、大きなプロジェクトに関係するVina World Linkは、営業、貿易、総務、会計が一つのプロジェクトで総合的に機能する必要があります。現在のベトナム人スタッフは入社以来多くの経験を積んで、それぞれの立場を相互理解して、自分の役割をきちんと果たす事を努力してくれております。最初



は未熟でも、それぞれの仕事を経験し、学び、その分野のエキスパートに成長しています。これは会社にとって、大きな武器であり、財産であります。まさに人財[®]です。ベトナムの方々には家族や親族を非常に大切にする、すばらしい文化がありますが、家族愛の考え方が会社愛につながるような会社にしていきたいと考えています。共に働く私たち日本人は、ベトナム人スタッフとのコミュニケーションを大切に、日頃から彼らの様子を良く観察して、ちょっとしたことでフォローし合えることが重要です。これは日本でも同じだと考えています。

Vina World Linkは、設立時は社員4名からのスタートでしたが、その後営業担当、貿易事務担当等を採用して徐々に人員を拡充し、現在は日本人も入れて全員で12名体制となっています。ベトナムでは、現地スタッフの離職率が高いという話をよく聞きますが、Vina World Linkの場合、これまでの退職者は1名のみです。離職率を抑えるために特別なことを行っているわけではないの

ですが、採用時には、即戦力の経験者ではなく、新卒を採用するようにしています。ベトナム人の社員にVina World Linkで喜んで働いてもらうためには、親会社であるフジキンの企業文化を理解してもらい、更にプラント業界の貿易業務を行う上で、必要な様々な実務を積極的に学んでいく姿勢が重要だと考えています。そのために、仕事に関して素直に取り組める新卒者の採用を優先的に行っています。また、Vina World Linkの業務は、社員同士が協力して業務を遂行していく必要があるため、チームワークも非常に重要です。その為、採用面接時には、個人の素直さと現在のVina World Link社員との相性を重視して採用するようにしています。

○ベトナムで苦勞をしたことはありますか？私をはじめベトナムに来たのは、2006年のFujikin Vietnamの新工場オープニングセレモニーに日本からのお客様をご案内したときのことでした。当時、ハノイにはまだ街灯が少なく、外国人用のホテルや日本食レストランも数件で、「ここには営業マンとして仕事に来ることは無いなあ」と感じたことを覚えています。その後、ベトナムが急速な発展の兆しを見せ始めた2009年から、マーケティングのため月1回、出張でベトナムに来るようになり、ベトナム国内で最大のエネルギー企業に関連プラント、工場、発電所を訪ねて、ベトナム国内を回り、多くのベトナムのエンジニアの方から貴重な情報をいただきました。日系の大手石油会社によって建設中の、ベトナム タインホア省にあるニソン精油所。この精油所の建設が本格化してきた2014年の夏から、ベトナムに常駐するようになり、今日に至っております。まさかベトナムで仕事をするようになるうとは、2006年には考えもしていませんでしたし、ベトナムがこのような短期間で経済発展を成し遂げ、アジアの中で注目される存在になるとは思いませんでした。

ベトナムには現在も多くのプロジェクトがありますが、様々な理由によって、計画どおりに進行しないことが往々にしてあります。これら

のプロジェクトに関わる会社を経営する立場からすると、これは非常に悩ましい問題です。Vina World Link は日系の貿易会社なので、日系企業のお客様とのお取引が多いのですが、年々ベトナムのローカル企業様とのお取引も増加しており、売上高の比率も高くなってきています。ベトナム企業主体の各種プロジェクトが盛んに動いているベトナムですが、ローカル企業は組織が複雑であり、計画どおりにプロジェクトが進捗しないことが、ベトナムでの苦勞のひとつです。

○今後の事業展開を教えてください

Vina World Linkは昨年2016年1月にホーチミンに支店を出しました。ベトナム南部のお客様へのサービスを充実するためでもあります。今後サイゴンハイテクパークを中心に進行すると予測されるベトナムの先端技術産業の育成に、ビジネスフォーカスをしていくためでもあります。フジキンはこれまでも研究開発型のメーカーとして、宇宙開発用の超精密バルブや世界中で日々技術革新が進む半導体製造用バルブ機器類、水素燃料自動車用の車載部品、水素ステーション用の超高压バルブ等の製品開発を行い、お客様のご要望にお応えする新製品をお届けし続けております。ベトナムでもホーチミンの拠点を活用して、お客様の新しい産業育成に必要なニーズは何かを調査して参ります。

また2017年からは新しい事業として、フジキンの製品以外のお客さま様の各種プラント用バルブのメンテナンス事業を開始します。日本の高度成長期当時、日本中で建設が始まった各種プラントは、日本政府による法整備や日本の優秀な技術者の努力で、プラント運転においても世界で類を見ないほど安全性を維持しています。この安全性維持には、プラント内バルブのメンテナンスも重要な役割を担っています。ベトナムに進出している日本の数少ないバルブメーカーとして、ベトナムでのプラントの安全運転のために、お役に立ちたいと一念発起して、事業の準備をして参りました。難しい事業ではありますが、ベトナムにおられる、お客様のご期待にお応えしていくために、社員一同、さらに精進を重ねてまいります。

ありがとうございました。

